

予算要求課	農政部 林務課	内線 2234
-------	---------	---------

金額の単位は、千円

款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	8	財産管理費
事業名	20805		市有林管理費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		63,102	92,375	29,273	92,268	要求どおり 前年予算に対し国の基金を活用した事業の増	92,268	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	35,000	67,779	32,779	69,670		69,670	
	起債			0				
	その他	8,000	12,493	4,493	12,500		12,500	
	一般財源	20,102	12,103	△ 7,999	10,098	10,098		

以下は予算要求時の内容

事業の目的				
市基本財産の造成、地域林業の振興、国土の保全等を図ることを目的に、計画的な管理・経営を推進する。				
事業実施の課題				
人工林が成熟期に達し、今後の施業は利用間伐・作業道整備に重点が移行するが、林業事業体の多くが下刈り・雪起こし・除伐など樹種の成長を促すための保育施業を行っており、利用間伐に対する施業技術(作業道と機械化による低コスト生産技術)が未熟である。				
事業概要				
市有林を活用した林業事業体、建設業者等の利用間伐に対する森林施業技術レベルアップ事業の実施 森林施業技術レベルアップ事業(利用間伐 A=48.05ha・作業路開設 L=2,000m) 市有林整備事業(除伐・間伐等 A=163.72ha)				
	計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
保育間伐(ha)		82.68	72.33	101.16
その他(ha)		145.37	134.01	62.56
利用間伐(ha)		0.00	14.67	48.05
作業路開設(m)		0	0	2,000
成果				
市有林を活用した森林施業技術のレベルアップ事業により、森林技術者の施業技術力の向上及び確保・育成が図られる。 また、市有林の適正な管理が維持できる。				
要求額増減理由				
利用間伐・作業路開設に伴う県の補助を活用した事業の増				

①総合計画		
(3)「にぎわい」のあるまちをめざして		
林業		
(1)林業の振興と森林のもつ多面的な機能を維持する		
②あらたな担い手の確保 ③林業関連施設の整備 ④森林の保全		
②実施計画・中期財政計画		
4 「にぎわい」のあるまちをめざして		
(3)林業		
ハード		
公有林整備事業		
③事業評価		
事業名	公有林整備事業	今後の方向性
評価区分	Ⅲ	森林整備計画に基づき、計画どおり実施されている。国においては景気対策、地球温暖化防止の面で補助制度等を充実させており、今後も可能な限り市の負担が少なくなるような森林整備を実施していく必要がある。
コスト・成果ポジション	コスト 中 成果 中	
実施方針	「Ⅱ」以上の水準に向けた改善が必要	
④市長の約束		
3 産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します。 ・特用林産の振興、森林技術者の確保・育成など総合的な林業振興策に積極的に取り組みます。		

予算要求課	農政部 林務課	内線 2235
-------	---------	---------

金額の単位は、千円

款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	17	地籍調査費
事業名	21700		地籍調査事業費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		45,538	64,780	19,242	28,390	要求に対し積算内容を精査 前年予算に対し県の補助費削減による減	28,390	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	32,400	16,500	△ 15,900	18,750		18,750	
	起債			0				
	その他			0				
一般財源		13,138	48,280	35,142	9,640	9,640		

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
土地の一筆ごとの所有者、地番、地目を調査し、境界の位置と面積を確定する。			
事業実施の課題			
森林所有者や地域の森林精通者の高齢化に伴い、森林境界を熟知している者が少なく、放置された森林が多いことから、山地災害の防止や水源かん養などの災害に強い森林づくりを進めるための適正な森林整備の推進に支障をきたしている。			
県の行財政改革アクションプランにより、H24年度までの事業費縮小が決定し、事業の進捗が遅れている。			
事業概要			
地籍調査の実施、境界明確化事業			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
地籍調査実施面積(k㎡)	4.6	4.1	2.9
成果			
法務局の備え付けの登記簿への反映により、土地取引の円滑化やトラブルの防止。 森林の境界明確化により、森林施業が円滑に実施でき、災害に強い森林づくりの推進が図られる。			
要求額増減理由			
総合計画の目標量を実施するための増			
森林境界明確化に係る県補助対象外地域への支援による増			

①総合計画		
(1)計画的な土地利用をめざして		
土地利用		
(1)住みよい生活環境の実現と市域全体の秩序ある発展を図る		
①総合的な土地利用		
②実施計画・中期財政計画		
1 計画的な土地利用をめざして		
(1)土地利用		
ソフト		
地籍調査実施事業		
③事業評価		
事業名	地籍調査事業	今後の方向性
評価区分	Ⅲ	地籍調査事業 第6次十箇年計画に基づく着実な実施。 (単年度平均 6.43k㎡・100,000千円)
コスト・成果ポジション	コスト 低	成果 低
実施方針	「Ⅱ」以上の水準に向けた改善が必要	
④市長の約束		
3 産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します 林業から新たな森林産業への転換をすすめます 地籍調査事業を積極的に実施します		

予算要求課	農政部 林務課	内線	2234
-------	---------	----	------

金額の単位は、千円

款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	18	環境政策費
事業名	21810		木質バイオマス活用促進事業					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		20,000	20,000	0	20,000	要求どおり 前年予算と同額	20,000	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	9,000	9,000	0	9,000		9,000	
	起債			0				
	その他			0				
一般財源		11,000	11,000	0	11,000		11,000	

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
木質バイオマスの活用を促進し、木材の利用拡大による地域活性化と低炭素型社会の構築			
事業実施の課題			
ペレットボイラーの利用について市民の認識度が不足していることから、更なるPR活動の強化が必要 また、市民へ良質なペレット燃料の供給を行うために品質改善が必要			
事業概要			
①ペレットストーブ・薪ストーブの購入経費を助成(上限 100千円) ②ペレットボイラーの購入費を助成(上限 300千円) ③ペレット燃料の購入経費を助成			
	計画・実績・見込	H21実績	H22見込
	ペレットストーブ等導入促進事業補助金(台)	108	130
	ペレットボイラー導入促進事業補助金(台)	-	5
	ペレット燃料普及促進補助金(件)	41	105
成果			
間伐しても利用されず森林内に放置されている、林地残材の利用拡大と低炭素型社会の構築			
要求額増減理由			

①総合計画		
政策3 「すみよさ」のあるまちをめざして		
分野6 環境・衛生		
基本施策1 快適に暮らせる環境を整備する		
施策2 地球環境への負担の低減		
②実施計画・中期財政計画		
政策3 「すみよさ」のあるまちをめざして		
分野6 環境・衛生		
ソフト		
木質バイオマス活用促進事業 平成22年度～平成26年度 全体計画額 100,000(千円)		
③事業評価		
事業名	木質バイオマス活用促進事業	今後の方向性
評価区分	Ⅲ	化石燃料の代替エネルギーとして木質バイオマスの活用促進を図るための事業である。補助メニューの拡充を行っているものの、一層の認知度の向上が必要である。今後更なる制度周知を図り、木質バイオマスの活用を推進するとともに、市民の環境意識の高揚と地球温暖化対策に結び付けていく必要がある。
コスト・成果ポジション	コスト 中 成果 中	
実施方針	「Ⅱ」以上の水準に向けた改善が必要	
④市長の約束		
8 豊かな自然環境を守り、環境モデル都市を創ります		
地球温暖化の対策、生物多様性の保全活用など、環境保全是今を生きている全ての人々が取り組まなければならない重要な問題であるため、バイオマスの利活用や間伐材・林地残材製品の開発など、環境改善につながる取り組みを支援します。		

予算要求課	農政 部 林務 課	内線 2236
-------	-----------	---------

金額の単位は、千円

款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	18 環境政策費
事業名	21815 環境共生型住宅建設促進事業				

新規	継続	拡大	縮小
		○	

事業費(人件費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	20,920	25,470	4,550	21,120	要求に対し積算内容を精査 前年予算と同額程度	21,120	財務部査定どおり
財源内訳							
国庫支出金			0	0			
県支出金	710	710	0	710		710	
起債			0	0			
その他			0	0			
一般財源	20,210	24,760	4,550	20,410		20,410	

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
地域材を使用した住宅建築促進による地域材の利用拡大			
事業実施の課題			
市民等へ事業の周知が不十分 市内での利用促進を図るとともに、市外へも地域材の利用拡大を図ることが必要			
事業概要			
環境共生モデル住宅の普及 産直住宅建築への助成 地域材を使った建築への助成			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
普及行事の開催(回)	0	1	1
産直住宅建築数(棟)	2	4	6
地域材を使った住宅建築数(棟)	38	65	70
成果			
木材・建設関係業者の一層の景気対策が進み、森林所有者の森林整備意欲が増進されることで、高山市の森林整備が促進される。			
要求額増減理由			
事業のPRIに伴う経費の増 地域材の利用拡大と木材産業の活性化を図るため、補助要件の見直しによる補助金の増			

①総合計画		
(3)にぎわいのあるまちをめざして		
林業		
(1)林業の振興と森林の持つ他面的な機能を維持する		
①持続的な生産基盤の整備		
②実施計画・中期財政計画		
4「にぎわい」のあるまちをめざして		
(3)林業		
ソフト		
匠の家づくり支援事業		
③事業評価		
事業名	匠の家づくり支援事業	今後の方向性
評価区分	Ⅱ	本事業は、地域産材の利用促進を図ることにより持続可能な森林整備につなげるのが目的であるが、低迷する建築業の活性化にも役立っているものである。 現在の制度は県産材を利用したものを対象としているが、市産材を活用したものには補助率や補助限度額を上げるなど一定のインセンティブを与え、森林整備の促進につなげていく必要がある。
コスト・成果ポジション	コスト 中 成果 高	
実施方針	「I」の水準に向けた改善が必要	
④市長の約束		
3 産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します。 ◎ 林業から新たな森林産業への転換を進めます。		

予算要求課	農政部 林務課	内線 2234
-------	---------	---------

金額の単位は、千円

款	5	農林水産業費	項	3	林業費	目	11	林業総務費
事業名	53100 林道維持管理費							

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		27,750	83,268	55,518	27,750	増額要求分については、国の特別事業を活用し前倒し補正対応 前年予算と同額	27,750	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	27,750	83,268	55,518	27,750			

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
適正な森林の整備、林業経営の効率化、森林へのアクセス確保等を図るため、計画的な維持・管理を推進する。			
事業実施の課題			
林道技術に精通した職員が減少しており、職員による管理・計画・工事発注などの業務が困難となっている。			
事業概要			
林道修繕 林道除草			
	計画・実績・見込	H21実績	H22見込
林道修繕(箇所)		46	35
林道除草(箇所)		0	6
	H23計画		59
			15
成果			
適正な維持管理が可能になり、森林の維持・管理が促進され、山地災害の防止や水源かん養など森林の多様な機能が持続的かつ高度に発揮される。			
要求額増減理由			
災害等により修繕が必要となる箇所が増加したことによる増			

①総合計画		
(3)「にぎわい」のあるまちをめざして		
林業		
(1)林業の振興と森林のもつ多面的な機能を維持する		
③林業関連施設の整備		
②実施計画・中期財政計画		
4「にぎわい」のあるまちをめざして		
(3)林業		
ハード		
林業施設維持修繕・改修事業		
③事業評価		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		
3 産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します。 ・特用林産の振興、森林技術者の確保・育成など総合的な林業振興策に積極的に取り組みます。		

事業別予算概要

予算要求課	農政部 林務課	内線 2236
-------	---------	---------

金額の単位は、千円

款	5 農林水産業費	項	3 林業費	目	1 林業総務費
事業名	53110 林業関係事務費				

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方	
歳出	2,144	2,815	671	2,783	要求どおり 前年予算に対し他事業に計上されていた事務費を集約したため増	3,065	林業振興関係団体負担金及び林業振興関係事務費の負担金を計上したため増	
財源内訳								
国庫支出金			0					
県支出金	857	857	0	916		916		
起債			0					
その他			0					
一般財源	1,287	1,958	671	1,867		2,149		

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
林業関係事業を推進するための事務費			
事業実施の課題			
事業概要			
林業事業を推進するための事務経費			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
成果			
林業事業の円滑な推進			
要求額増減理由			
高山市内で実施した治山・林道事業等が増加したことによる、県山林協会負担金の増額 業務拡大による需用費の増額			

①総合計画		
②実施計画・中期財政計画		
③事業評価		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		

予算要求課	農政部 林務課	内線 2235
-------	---------	---------

金額の単位は、千円

款	5	農林水産業費	項	3	林業費	目	2	林業振興費
事業名	53205 広域造林管理							

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		6,582	5,065	△ 1,517	5,065	要求どおり 前年予算に対し事業量の減	5,065	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	6,500	5,000	△ 1,500	5,000		5,000	
	起債			0				
	その他	26	21	△ 5	21		21	
	一般財源	56	44	△ 12	44	44		

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
明治百年を記念して、飛騨地区に造成した「記念林」の適正な管理			
事業実施の課題			
事業概要			
森林の適正な管理のための間伐等の実施			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
間伐実施面積(ha)	29.80	26.03	20.00
成果			
記念林の適正な管理			
要求額増減理由			
間伐対象森林面積の減による事業量の減			

①総合計画		
(3)「にぎわい」のあるまちをめざして		
林業		
(1)林業の振興と森林のもつ他面的な機能を維持する		
① 森林の保全		
②実施計画・中期財政計画		
③事業評価		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		

予算要求課	農政部 林務課	内線 2235
-------	---------	---------

金額の単位は、千円

款	5	農林水産業費	項	3	林業費	目	2	林業振興費
事業名	53209 緑資源幹線林道賦課金元利補給金							

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		23,281	21,941	△ 1,340	21,941	要求どおり 前年予算に対し負担金返済額の減	21,941	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	23,281	21,941	△ 1,340	21,941		21,941	

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
旧緑資源幹線林道(大規模林道)の建設費の受益者負担金の返済			
事業実施の課題			
事業概要			
受益者である高山市の負担金及び受益者組合への補助			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
成果			
森林整備の促進や地域間交通の利便性の向上			
要求額増減理由			
償還元金の減			

①総合計画		
「にぎわい」のあるまちをめざして		
林業		
(1)林業の振興と森林のもつ多面的な機能を維持する		
③林業関係施設の整備		
②実施計画・中期財政計画		
4「にぎわい」のあるまちをめざして		
(3) 林業		
ハード		
大規模林道整備事業		
③事業評価		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		

予算要求課	農政部 林務課	内線	2234
-------	---------	----	------

金額の単位は、千円

款	5	農林水産業費	項	3	林業費	目	2	林業振興費
事業名	53218		緑の保全事業費					

新規	継続	拡大	縮小
		○	

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		55,000	60,620	5,620	55,000	要求に対し積算内容を精査	55,000	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金	1,666	500	△ 1,166	500		500	
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他	5,189	4,451	△ 738	5,086		5,086	
	一般財源	48,145	55,669	7,524	49,414		49,414	

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
必要な森林施策を適切に実施することにより、森林を健全な状態に保ち、水源かん養機能の向上や災害に強い森林づくりを促進する。			
事業実施の課題			
①間伐が進まない原因は、材価の低迷、高齢化等によって、間伐経費の負担ができないことである。高山市は、目標面積2,000ha/年に向けて、引き続き市の補助金による支援を行い、間伐実施者の負担を軽減することが必要である。②材価が安く、一方では搬出経費が高い小径木、曲材、短材などは、ほとんど利用されていない。			
事業概要			
間伐・除伐・枝打ち等 作業道開設 間伐材利用促進			
	計画・実績・見込	H21実績	H22見込
間伐・除伐・枝打ち等 (ha)		732	975
作業道開設 (m)		8,674	11,900
間伐材利用促進 (m³)		12,869	11,400
成果			
災害に強い森林づくりと木材の生産拡大			
要求額増減理由			
利用間伐を推進するため、木材の搬出経費に対する補助金の増			

①総合計画		
4 「にぎわい」のあるまちをめざして		
3 林業		
1 林業の振興と森林のもつ多面的な機能を維持する		
1 持続可能な生産基盤の整備		
②実施計画・中期財政計画		
4 「にぎわい」のあるまちをめざして		
3 林業		
ハード		
民有林整備事業 平成22年度～平成26年度 全体計画額 275,000(千円)		
③事業評価		
事業名	民有林整備事業	今後の方向性
評価区分	Ⅲ	本事業は本来は森林所有者が実施すべきものであり、木材需要の創出、担い手の確保・育成を併せて実施していくことにより、将来的な事業の縮小を目指していくことが必要である。
コスト・成果ポジション	コスト 中 成果 中	
実施方針	「Ⅱ」以上の水準に向けた改善が必要	
④市長の約束		
8 豊かな自然環境を守り、環境モデル都市を創ります		
地球温暖化の対策、生物多様性の保全活用など、環境保全は今を生きる全ての人が取り組まなければならない重要な問題であるため、バイオマスの利活用や間伐材・林地残材製品の開発など、環境改善につながる取り組みを支援します。		

予算要求課	農政部 林務課	内線	2234
-------	---------	----	------

金額の単位は、千円

款	5	農林水産業費	項	3	林業費	目	2	林業振興費
事業名	53220 森林被害対策事業							

新規	継続	拡大	縮小
		○	

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		5,000	8,059	3,059	6,500	要求に対し積算内容を精査 前年予算に対し事業量の増	6,500	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	1,600	3,793	2,193	6,500		6,500	
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	3,400	4,266	866	0		0	

以下は予算要求時の内容

事業の目的				
高山市内におけるカシノナガキクイムシによるナラ枯れ被害の拡大を防止する。				
事業実施の課題				
効率的な駆除を実施するため、早期に被害状況の把握と適期の駆除及び新たな駆除技術の導入が必要				
事業概要				
駆除 予防 調査				
	計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
駆除(m)		—	200	90
予防(本)		—	100	400
調査(回)		—	4	3
成果				
ナラ枯れ被害の拡大防止				
要求額増減理由				
被害の拡大に伴う、県補助事業の事業量の拡大				

①総合計画		
4 「にぎわい」のあるまちをめざして		
3 林業		
1 林業の振興と森林のもつ多面的な機能を維持する		
1 持続可能な生産基盤の整備		
②実施計画・中期財政計画		
4 「にぎわい」のあるまちをめざして		
3 林業		
ソフト		
森林病虫害対策事業費 平成22年度～平成26年度 全体計画額 25,000(千円)		
③事業評価 ※該当なし		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		

予算要求課	農政部 林務課	内線 2235
-------	---------	---------

金額の単位は、千円

款	5	農林水産業費	項	3	林業費	目	19	負担金、補助及び交付金
事業名	53221 林業改良普及事業							

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		900	500	△ 400	500	要求どおり 前年予算に対し補助対象団体数の減	500	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	450	250	△ 200	250		250	
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	450	250	△ 200	250		250	

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
林業関係者の自主的かつ実践的な活動を支援し、林業後継者の育成や林業技術の取得を進める。			
事業実施の課題			
林業グループメンバーが高齢化しているため、後継者の育成が必要となっている			
事業概要			
高山市内5つの林業グループが実施する研修活動等に対して助成			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
グループ数(団体)	7	5	5
成果			
新たな林業技術の習得や、後継者の育成を促進			
要求額増減理由			
支援グループ数の減			

①総合計画		
(3) 「にぎわい」のあるまちをめざして		
林業		
(1) 林業の振興と森林のもつ他面的な機能を維持する		
① あらたな担い手の確保		
②実施計画・中期財政計画		
4 「にぎわい」のあるまちをめざして		
(3) 林業		
ソフト		
林業改良普及事業		
③事業評価		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		
3 産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します。		
森林技術者の確保・育成など、総合的な林業振興人積極的に取り組みます。		

事業別予算概要

予算要求課	農政部 林務課	内線 2236
-------	---------	---------

金額の単位は、千円

款	5 農林水産業費	項	3 林業費	目	2 林業振興費
事業名	53233 林業振興関係団体負担金				

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		292	272	△ 20	272	要求どおり 前年予算に対し補助対象団体数の減	0	負担金を林業関係事務費で計上したため減
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	292	272	△ 20	272			

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
市が参画している林業振興関係団体の負担金			
事業実施の課題			
各自治体の財政状況の厳しい中、負担金額の見直しが必要			
事業概要			
ふるさと林道整備促進協議会負担金 全国森林環境税創設促進連盟負担金 県林業労働力確保支援センター負担金			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
市が参画している林業振興団体数(団体)	5	4	3
成果			
林業振興の推進			
要求額増減理由			
関係団体の減少による負担額の減			

①総合計画		
②実施計画・中期財政計画		
③事業評価		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		

予算要求課	農政部 林務課	内線 2235
-------	---------	---------

金額の単位は、千円

款	5	農林水産業費	項	3	林業費	目	2	林業振興費
事業名	53242		林道開設事業費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		1,000	4,500	3,500	4,500	要求どおり 前年予算に対し林道開設工事が開始されることによる増	4,500	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	1,000	4,500	3,500	4,500			

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
基幹林道(宮・高山線)の未完成区間の整備(2.6km)			
事業実施の課題			
県の予算減額により割当事業費が減少し、事業の進捗が遅れている。			
事業概要			
宮・高山線の開設事業の負担金 開設延長 W=7.0m L=200mの建設費の負担金			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
開設延長 W=7.0m L=200m		測量調査 環境調査	開設延長 W=7.0m L=200m
成果			
宮・高山線の全線開通(要開設延長 2.6km)			
要求額増減理由			
開設事業の開始			

①総合計画		
(3)「にぎわい」のあるまちをめざして		
林業		
(1)林業の振興と森林のもつ多面的な機能を維持する		
林業関連施設の整備		
②実施計画・中期財政計画		
4 「にぎわい」のあるまちをめざして		
(3)林業		
ハード		
大規模林道整備事業		
③事業評価		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		

予算要求課	農政部 林務課	内線 2235
-------	---------	---------

金額の単位は、千円

款	5	農林水産業費	項	3	林業費	目	2	林業振興費
事業名	53255		林道改良事業					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		19,500	32,211	12,711	20,160	要求に対し積算内容を精査 前年予算に対し事業量の増	20,160	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	13,330	19,939	6,609	14,000		14,000	
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	6,170	12,272	6,102	6,160		6,160	

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
森林基幹道駄吉線の改良(法面)工事及び林道小萱～蔵柱線の舗装工事を実施し、通行の安全を図る。			
事業実施の課題			
県の予算減額により割当事業費が減少し、事業の進捗や事業採択がおくれている。			
事業概要			
林道駄吉線の改良工事 林道小萱～蔵柱線の舗装工事			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
改良(法面)工事 延長(m)	240	90	155
舗装工事 延長(m)			653
成果			
駄吉線改良工事の全線完了(H24年度末) 小萱～蔵柱線の未舗装部分の解消			
要求額増減理由			
舗装工事箇所が増えたことによる増			

①総合計画		
(3)「にぎわい」のあるまちをめざして		
林業		
(1)林業の振興と森林のもつ多面的な機能を維持する		
林業関連施設の整備		
②実施計画・中期財政計画		
4 「にぎわい」のあるまちをめざして		
(3)林業		
ハード		
林道改良事業		
③事業評価		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		

予算要求課	農政部 林務課	内線	2236
-------	---------	----	------

金額の単位は、千円

款	5	農林水産業費	項	3	林業費	目	2	林業振興費
事業名	53256		生活環境保全林管理事業					

新規	継続	拡大	縮小
		○	

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		4,157	17,982	13,825	6,457	要求に対し積算内容を精査 前年予算に対し事業量の増	6,457	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	4,157	17,982	13,825	6,457			

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
市民の生活環境を保全する身近な山林を、市民の財産として将来に継承するために、生活環境保全林の適正な維持管理業務を実施する。			
事業実施の課題			
市民等が安全に施設を利用できるよう、施設の修繕など適切な維持管理が必要である。			
事業概要			
生活環境保全林の維持管理 清見(小鳥の郷、大倉、西ウレ)、荘川(であいの森)、朝日(あさひの森)、高根(望岳の森)、国府(洗心の森)			
計画・実績・見込		H21実績	H22見込
生活環境保全林利用者数(人)		136,344	137,000
			H23計画
			140,000
成果			
市民及び高山市を訪れる観光客が、安全に施設を利用することができ、自然と触れ合いながら山林の重要性について理解を深める。			
要求額増減理由			
老朽化した施設について、利用者の安全確保や利便性向上のための維持修繕工事の増。			

①総合計画		
(3)「にぎわい」のあるまちをめざして		
林業		
(1)林業の振興と森林の持つ他面的機能を維持する		
④ 森林の保全		
②実施計画・中期財政計画		
4 「にぎわい」のあるまちをめざして		
(3)林業		
ハード		
林業施設維持修繕・改修工事		
③事業評価		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		
8 豊かな自然環境を守り、環境モデル都市をつくります		
◎環境保全に取り組みます。		
◎市民生活の中に自然環境を生かした街づくりを進めます。		

予算要求課	農政部 林務課	内線 2236
-------	---------	---------

金額の単位は、千円

款	5	農林水産業費	項	3	林業費	目	2	林業振興費
事業名	53278		森林づくり交流促進事業費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		150	150	0	0	53280 林業振興関係事務費にて予算措置	0	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0	0			
	県支出金			0	0			
	起債			0	0			
	その他			0	0			
	一般財源	150	150	0	0		0	

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
間伐を主体とする森林整備の推進を図るために、森林所有者及び市民に森林整備の必要性を啓発する。			
事業実施の課題			
森林所有者及び市民に、適切に森林を整備することの必要性を啓発することが必要であるが、まだまだ浸透していない			
事業概要			
「美しい森林づくりin飛騨」のフォーラム等の開催にかかる負担金			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
普及啓発イベント開催(回)	1	1	1
美しい森林づくりフォーラム開催(回) (国際森林年記念)	1	1	1
成果			
間伐を主体とする森林整備が推進され、高山市の森林健全化が図られる。			
要求額増減理由			

①総合計画		
(3)「にぎわい」のあるまちをめざして		
林業		
(1)林業の振興と森林のもつ他面的な機能を維持する		
④ 森林の保全		
②実施計画・中期財政計画		
4「にぎわい」のあるまちをめざして		
(3)林業		
ソフト		
森づくり交流促進事業		
③事業評価		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		
3 産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します。		
◎ 林業から新たな森林産業への転換を進めます。		
総合的な林業振興策に積極的に取り組みます。		

事業別予算概要

一般会計

予算要求課	農政部 林務課	内線 2236
-------	---------	---------

金額の単位は、千円

款	5 農林水産業費	項	3 林業費	目	2 林業振興費
事業名	53280 林業振興関係事務費				

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	800	1,025	225	820	要求に対し積算内容を精査 前年予算に対し他事業の事務費を集約したことによる増	810	一部負担金を林業関係事務費で計上したため減
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
起債			0				
その他	800	0	△ 800				
一般財源	0	1,025	1,025	820		810	

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
林業振興事業を推進するための事務費			
事業実施の課題			
事業概要			
事務費			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
成果			
林業事業の推進			
要求額増減理由			
現場立会い業務の増加による事務費の増			

①総合計画		
②実施計画・中期財政計画		
③事業評価		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		

予算要求課	農政部 林務課	内線 2235
-------	---------	---------

金額の単位は、千円

款	5	農林水産業費	項	3	林業費	目	2	林業振興費
事業名	53282		林道台帳整備事業					

新規	継続	拡大	縮小
○			

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		0	4,200	4,200	0	委託ではなく職員対応とする	0	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	0	4,200	4,200	0			

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
市内一定要件林道(幅員4m以上かつ、連絡線形)23路線の未整備の13路線の台帳整備による林道の維持管理			
事業実施の課題			
事業概要			
3路線(舟ヶ洞～内垣内、見量、八幡・高山)の平板測量、基準点測量及び成果品(台帳、図面)の作成			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
路線数(路線)	-	-	3
延長(m)	-	-	14,665
成果			
台帳整備による維持管理事業の簡素化及び災復旧時の迅速化			
要求額増減理由			
新規事業			

①総合計画		
②実施計画・中期財政計画		
③事業評価		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		

予算要求課	農政部 林務課	内線 2235
-------	---------	---------

金額の単位は、千円

款	5	農林水産業費	項	3	林業費	目	2	林業振興費
事業名	53285 森林整備地域活動支援事業費							

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		103,820	75,086	△ 28,734	75,120	要求どおり 前年予算に対し県補助事業量の縮減による減	75,120	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	77,835	56,275	△ 21,560	56,273		56,273	
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	25,985	18,811	△ 7,174	18,847		18,847	

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
森林整備に不可欠な森林の現況の把握、歩道の整備等の活動を支援し間伐等森林施業を促進			
事業実施の課題			
施業地の集約化により効率的かつ低コスト施業の推進			
事業概要			
施業区域の明確化、作業道の修繕等の活動支援			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
補助対象となる森林面積(積算基礎森林)(ha)	16,531	15,800	
補助対象となる森林面積(集約化)(ha)			135
補助対象となる森林面積(経営計画)(ha)			135
補助対象となる森林面積(作業道の点検)(ha)			13,400
成果			
山地災害に強い健全な森づくりを推進			
要求額増減理由			
県予算額の減(行財政改革アクションプラン)による事業費の減			

①総合計画		
(3)「にぎわい」のあるまちをめざして		
林業		
(1)林業の振興と森林のもつ他面的な機能を維持する		
① 持続可能な生産基盤の整備		
②実施計画・中期財政計画		
4「にぎわい」のあるまちをめざして		
(3) 林業		
ソフト		
森林整備地域活動支援補助金		
③事業評価		
事業名	森林整備地域活動支援補助金	今後の方向性
評価区分	Ⅲ	森林の現況調査や施業実施区域の明確化は、その後の森林の適正な管理に向け非常に重要である。今後も県に対し必要な財源を確保するよう強く要望するなど、継続して実施できるよう努める必要がある。
コスト・成果ポジション	コスト 中	成果 中
実施方針	「Ⅱ」以上の水準に向けた改善が必要	
④市長の約束		
8 豊かや自然を守り、環境モデル都市をつくります。 間伐材・林地残材などの製品化や燃料化に対する助成制度の新設や、地元木材利用の促進助成制度の充実等を実施します。		

予算要求課	農政部 林務課	内線 2234
-------	---------	---------

金額の単位は、千円

款	5	農林水産業費	項	3	林業費	目	3	分収造林費
事業名	53300		分収造林整備事業費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		25,016	25,711	695	25,034	要求に対し積算内容を精査 前年予算と同額	25,034	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	16,400	10,418	△ 5,982	9,880		9,880	
	起債			0				
	その他		10,045	10,045	10,000		10,000	
	一般財源	8,616	5,248	△ 3,368	5,154	5,154		

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
公的造林資本の導入により森林資源を計画的に造成し、地域林業の振興、国土の保全等を図る			
事業実施の課題			
森林施業に精通した職員が減少しており、職員による造林地の管理・計画・工事発注などの業務が困難となっている。			
事業概要			
市行分収造林 国有林分収造林 森林総合研究所分収造林			
	計画・実績・見込	H21実績	H22見込
市行分収造林(ha)		37.38	103.57
国有林分収造林(ha)		14.16	12.75
森林総合研究所分収造林(ha)		15.81	0.00
成果			
適正な森林施業により、山地災害の防止や地球温暖化の防止、木材生産機能など公益的機能の維持・発揮が図られる。			
要求額増減理由			
施業面積の増			

①総合計画		
(3)「にぎわい」のあるまちをめざして		
林業		
(1)林業の振興と森林のもつ多面的な機能を維持する		
②あらたな担い手の確保 ③林業関連施設の整備 ④森林の保全		
②実施計画・中期財政計画		
4「にぎわい」のあるまちをめざして		
(3)林業		
ハード		
分収造林受託事業		
③事業評価		
事業名	分収造林受託事業	今後の方向性
評価区分	Ⅲ	現在、職員の事務経費が分収収益分を大幅に上回っており、コスト削減を図るとともに事業効果を担保するため、分収契約を見直し、造林事業者等を林業事業体に移管することも検討する必要がある。
コスト・成果ポジション	コスト 中 成果 中	
実施方針	「Ⅱ」以上の水準に向けた改善が必要	
④市長の約束		
3 産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します。 ・特養林産の振興、森林技術者の確保・育成など総合的な林業振興策に積極的に取り組みます。		